

哲学対話 × ライブペイティング

ART&Philosophy

哲学対話テーマ……レヴィナスの「無用の苦しみ」

2022年よりスタートした「Art&Philosophy」は公開された「芸術制作」の現場で「哲学対話」を実践することで、芸術的思考の始まりを哲学的視座から「言葉」と「行為」を通して明らかにする実践的な研究です。美術におけるライブペイントやパフォーマンスと、哲学における哲学対話（哲学カフェ）を同時に開催し、哲学研究者やアーティストを交え、参加者が「美術とは何を指したどのような営みであるのか」について実践的に考える場を作っています。今回は Dr. Irina Poleshchuk 氏をお迎えし、テーマはエマニュエル・レヴィナスの「無用の苦しみ」（『われわれのあいだで〈新装版〉：《他者に向けて思考すること》をめぐる試論」、合田 正人・谷口 博史（翻訳）、2015、法政大学出版局）のテキストを元に、苦しみの表現について考えます。

美術と哲学

参加無料



申し込みはこちら

2026・6/14（日）13:00-18:00

神戸大学 鶴甲第2キャンパス F棟2階 257教室 多機能ルーム

〒657-8501 兵庫県神戸市灘区鶴甲 3-11

募集人数

対話参加：15名（申し込み先着順）
観覧のみ：30名程度（当日先着順）

ゲスト講師

Dr. Irina Poleshchuk
European Humanities University (Vilnius, Lithuania), Department of Social Sciences.

主催 | 科研費基盤研究 (B) : 「Art&Philosophy」美術教育への臨床哲学対話の応用 (研究代表者: 栗原一成、課題番号 25K00412)
共催 | JSPS 科研費学術変革領域研究 (A) 23H04855 「尊厳学の確立: 尊厳概念に基づく社会統合の学際的パラダイムの構築に向けて (ケイバビリティ毀損と人間の尊厳-福祉経済政策の倫理と哲学)」 (研究代表者: 後藤玲子) / 神戸大学大学院人間発達環境学研究所 ヒューマン・コミュニティ創成研究センター
協力 | DUSTBUNNY LLC.